

(セミナー名称)		
2019 年度第 2 回山形県がん化学療法セミナー		
担当者氏名：富岡佳久		所属：大学院薬学研究科 がん化学療法薬学分野
内線： (795)6851	e-mail：	
1. 計画の名称		
2019 年度第 2 回山形県がん化学療法セミナー		
2. 関連分野		
がん化学療法		
3. 実施報告		
<p>2019 年 4 月 21 日大手門パルズにて、2019 年度第 1 回がん化学療法セミナーを開催した。</p> <p>特別講演 I として、鶴岡市立荘内病院 看護部 竹内梨紗先生から「乳がんチーム医療における看護師と薬剤師の連携」と題しご講演頂いた。また、特別講演 II では、山形県立新庄病院 副院長 外科・乳腺外科 石山智敏先生から「乳癌に対する化学療法 UP-TO-DATE ～ガイドラインと日常診療の狭間で～」と題しご講演を頂いた。</p>		
4. 実施年月日・実施担当者・参加人数		
<p>2019 年 6 月 16 日(日)</p> <p>東北大学 大学院薬学研究科 がん化学療法薬学分野 教授 富岡佳久</p> <p>49 名が参加</p>		
5. 所要経費		
支出簿参照		
6. 成果		
<p>鶴岡市立荘内病院 看護部 竹内梨紗先生から「乳がんチーム医療における看護師と薬剤師の連携」と題し、乳がん看護認定看護師を含む認定看護師の役割についてお話し頂いた。また、診断後の様々な治療場面におけるサポートや心理的ケアの重要性、多職種連携の必要性についてご講演頂いた。患者の治療意思決定の際、患者の心理状態把握のため会話内容に注意している点などサポートする上でのポイントについてもご講演頂いた。医師・看護師に対して実施したアンケート調査の結果もご発表頂き、多職種連携の必要性を改めて実感する講演であった。</p> <p>山形県立新庄病院 副院長 外科・乳腺外科 石山智敏先生から「乳癌に対する化学療法 UP-TO-DATE ～ガイドラインと日常診療の狭間で～」と題し、乳がんの進行度およびタイプ別治療内容について、実際の症例を多くご提示頂きご講演頂いた。術前化学療法や術後補助化学療法については、ガイドラインに準じた治療を選択する一方で、転移・再発乳がんに対する治療については治療選択の難しさやその中で薬剤師が出来る患者支援についてご講演頂いた。患者の治療意思決定を支援し、その後の治療における多職種連携の重要性を再確認できる有意義なセミナーであった。</p>		

【当日の会場の様子など、写真を添付ください】

